

V65a **TMT 計画 – その概要と国際状況**

家正則、山下卓也、臼田知史、高見英樹、青木和光、柏川伸成、宮下隆明、鈴木竜二、橋本哲也、神津昭仁(国立天文台)、山田亨(東北大)、Edward Stone、Henry Yang、Gary Sanders、Michael Bolte、Ernie Seaquist、Suijian Xue、Eswar Reddy 他(TMT Project)

TMT (Thirty Meter Telescope) は、マウナケア山頂域に国際協力で実現を目指している次世代の地上超大型望遠鏡である。現在、カリフォルニア工科大学、カリフォルニア大学、国立天文台、カナダ天文学大学連合、中国国家天文台、インド TMT 連携機構の六者が参加意向表明して協力評議会を構成して計画を推進している。

国際事業としての TMT 計画の (1) 三大科学目的と望遠鏡基本性能、(2) 建設役割分担と予算要求状況、(3) 建設地と建設許可申請、(4) 観測装置とデータ管理、(5) 国際事業としての合意契約書検討、(6) 全体スケジュールと今後の予定、については、年会で毎回状況を報告してきた。

2012年10月には第37回 TMT 協力評議会を東京で開催し、11月には国内の科学館やプラネタリウム関係者を軸に TMT 推進応援団を立ち上げ、文部科学省とも連携して、計画推進に拍車をかけている。またこれまでパートナー間で見解に隔たりがあったいくつかの事項について国際合意契約書検討状況に大きな進展があった。これらの最新状況を中心に今後の見通しを報告する。